

## 2015 Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 江の島ヨットクラブジュニア 学年 中学2年 氏名 桔川 翔太郎		
大会名	2016 North American Championship		
開催地	アンティグア・バーブーダ		
大会期間	2016年7月10日～18日		
セールNo	JPN3338	最終順位	144人中101位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
  2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は日本の暑い夏と同じくらいで約30度くらいでした。 水温もあたたかく泳いで気持ちよかったです。 上はラッシュガード、下はスパッツにカイパンと日本の夏と同じ格好でした。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	中風の割にうねりが大きい。 風の傾向としては島の真隣がレース海面だったため、島風の影響で周期的に風は振れていました。
セッティングで注意したこと	はじめはスプリットを限界まで引いていなかったため、外国人選手たちに比べ、のぼり角度が取れなかった。次の日からはスプリットを限界まで引き、セールにしわは残さないことを意識した。
セーリングで注意したこと	うねりが強かったのでセール、アンヒールの調整に注意した。
海上で練習したこと	レスキュー艇をシェアしていたアメリカとすべった。日本チームで左、右に分かれてすべり、有利、不利の確認をした。

実際のスベリはどうでしたか？	トップを走る選手とスピードは同じくらいだがのぼり角度が低い。
スタートは、どうでしたか？	いい時と悪い時の差があった。いい時はしっかりと一線からスタートしているが、悪い時はスタート10秒後にはブランケの状態になっていた。
コース戦略はどうでしたか？	島風をいかしたコース。2日目は雲の影響があった。
自分より上位の選手との違いは？	のぼり角度。 ヘッダーを走っている長さ。
国内の練習で役立つこと	タックの回数を減らすこと。スタートのスペースの取り方。スタートをクローズで切ること。
国内の練習で足りなかったこと	ランニング、クローズのすべる量。情報を取得する量(風の振れ、潮、など)。
印象に残った外国選手は？	優勝したウルグアイの選手。とても大きい体格なのに中風でとても小さな子に走り負けていなかったから。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	情報を取得する量。コースを考えるためのひきだしの数。
今後の課題と目標は？	体が大きくなる分よりいっそうボートバランスを考えないといけないし、人一倍戦略を練ること。 来年はワールドに行くこと。
JODAへの要望	もう少しNT合同練習をやりたいかった。
その他	今回の遠征で本当にたくさんの方の貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会